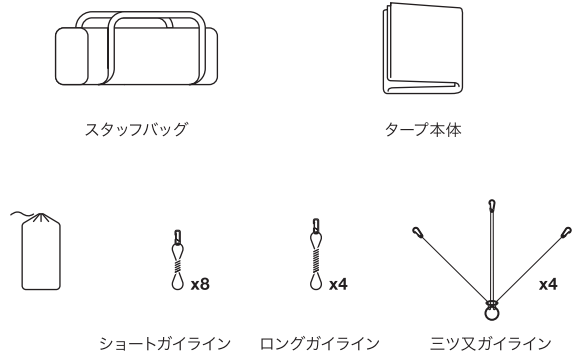


NV22417R / NV22418R

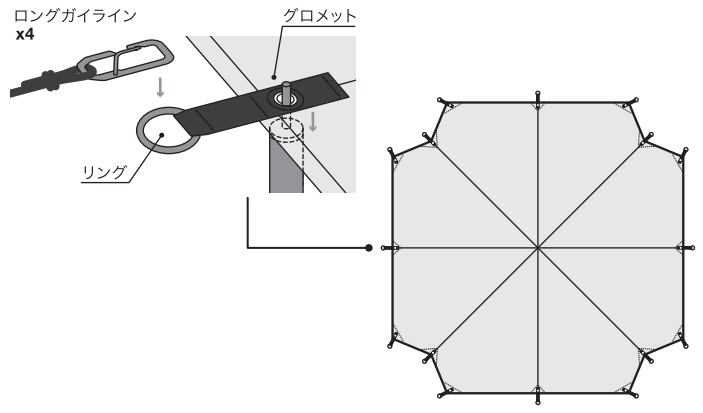
# NEBULA 6 / 2 TC

01 ※NEBULA 6 TCとNEBULA 2 TCは共通の内容です。



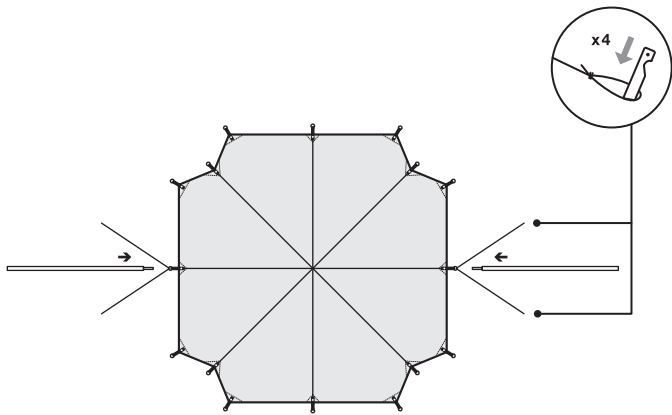
スタッフバッグからすべての商品を取り出します。

02 ポール2本での張り方



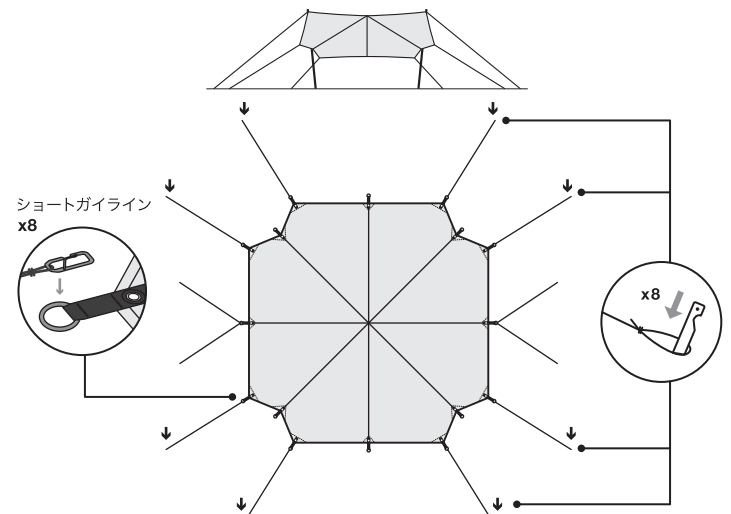
タープ本体を平らに広げ、ポールを2本組み立てます。※ポールは付属していません。グロメットにポールを差し込み、リングにロングガイラインのカラビナを取り付けます。

03



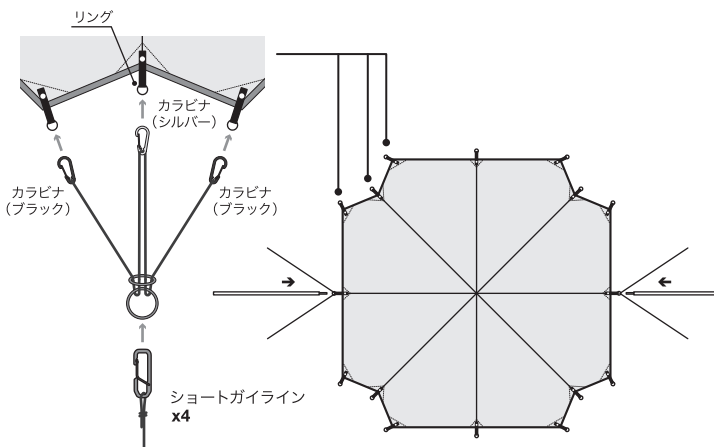
ロングガイラインの先をペグダウンし、ポールを立ち上げます。  
※ペグ・ペグを打つハンマー等はお自身でご用意ください。

04 ※三ツ又ガイラインを使用しない場合



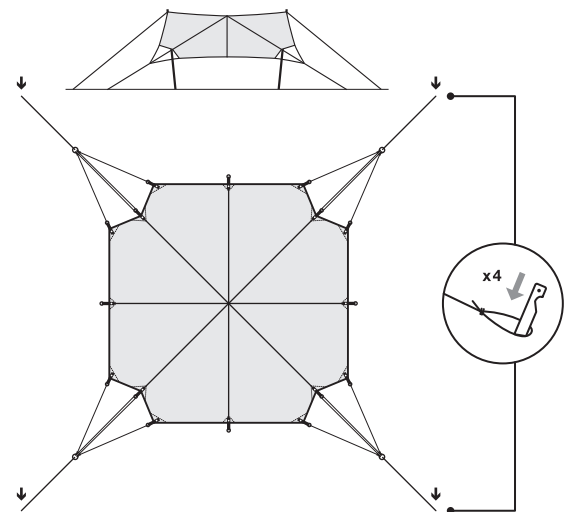
タープのリングにショートガイラインのカラビナを取り付け、ショートガイラインの先をペグダウンし、全体のテンションを調整します。

05 ※三ツ又ガイラインを使用する場合



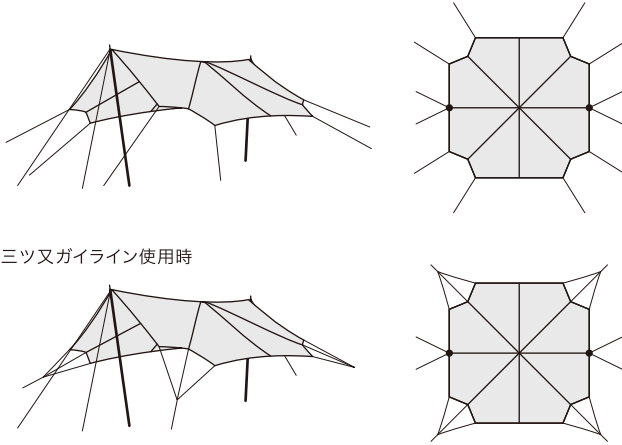
タープの四隅に三ツ又ガイラインを取り付けます。三ツ又ガイラインのリングにショートガイラインを取り付けます。02-03コマを参照しポールを立ち上げます。

06



ショートガイラインの先をペグダウンし、全体のテンションを調整します。  
三ツ又ガイラインを使用することで、ペグダウンの数を減らし容易な設営が可能となります。

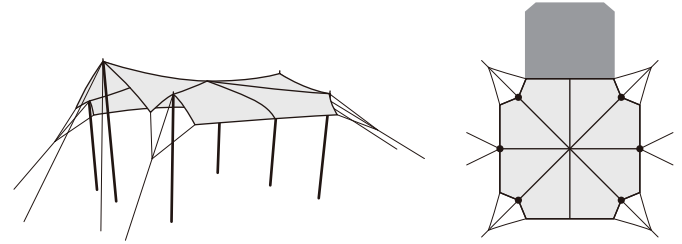
07 ポール2本での張り方



三ツ又ガイライン使用時

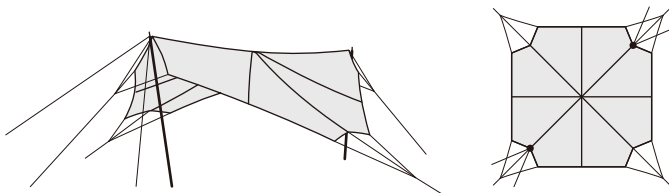
有効面積を広くとるスタンダードな張り方。

08 ポール2本 + 跳ね上げポール4本での張り方



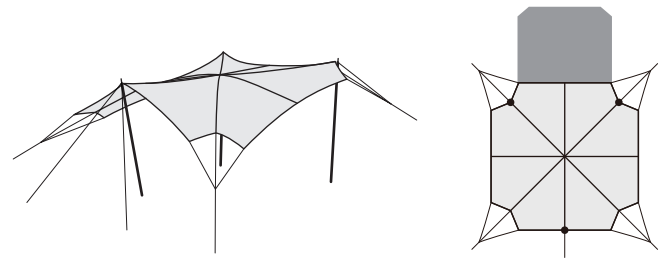
入り口が高く開放感のある張り方。

09 ポール2本での張り方(対角線)



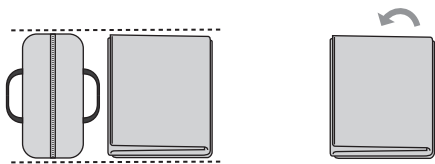
周囲を程よく遮り、プライベート感のある張り方。

10 ポール3本での張り方



大型テントとの連結も容易な張り方。

タープの撤収



タープ本体はスタッフバッグと幅を合わせて巻いていくときれいに収納することができます。

メンテナンス方法

■クリーニング

タープ本体を設営した後は、真水で汚れを洗い流してください。スポンジ・タオル等で水気をふき取り、完全に乾燥させてから収納してください。ランドリー洗濯やドライクリーニングはしないでください。

■保管方法

タープを保管する際は、必ず完全に乾燥させた状態で収納してください。高温多湿状態では、白カビが発生しやすく生地を寿命を低下させます。タープを長期間収納したまま放置してしまうことも生地を寿命低下につながります。定期的に設営して生地を換気してください。

ご使用にあたって

■設営場所の選び方

凹凸が少なく、乾いた平らな地面が理想的です。大きな石や尖った石を取り除き、タープ本体の大きさを整地してから設営をしてください。

■火気に関して

THE NORTH FACEのタープは防火基準に適合する処理をされています。しかし、タープ下での火器の使用や焚き火は、生地に穴を開けてしまうおそれがあり大変危険です。調理等でタープ下で火器を使用する際も、延焼するものを近くに置かないよう注意してください。

■悪天候の時は

タープ本体が風を受けベグが外れるなどすると、ケガをするおそれがありますので、ご使用中はベグやガイラインをしっかりと固定してください。また、強風下でのタープの使用は避けてください。雨天時は雨水がタープに溜まらないよう、ガイラインをしっかりと張って調節してください。

■T/C生地(コットンとポリエステル混紡素材)について

T/C生地の特性上、濡れるとコットン糸が膨張し雨が浸入しづらくなる効果がありますが、完全に防水することはできません。予めご了承下さい。

雨・雪・結露等で水分が付着した場合はご使用後に完全に乾燥させてください。乾燥が不完全な場合カビ等が発生することがあります。

保証と修理について

不適切な設営によるポールの破損や、生地の破れ、カビの発生や、不適切な保管・洗浄によって発生した生地へのダメージは、THE NORTH FACEの保証の対象とはなりません。適切な設営方法・保管方法をご理解のうえ使用してください。修理が必要な場合はお問い合わせになった販売店または、弊社カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。